空気より軽い12A、13Aガス用

大阪ガス

家庭用

火災・ガス警報器

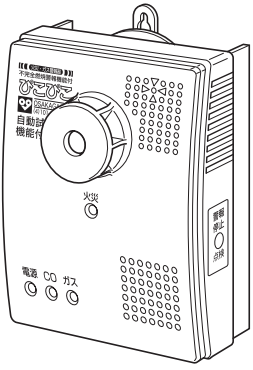
不完全燃焼警報機能付

ぴこぴこ®

型番 (4)101-0301型

取扱説明書 保証書付

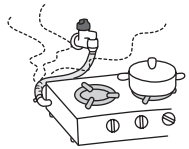
XZ-196K 型



- 火災・ガス警報器（不完全燃焼警報機能付）「ぴこぴこ」をお取り付けいただきありがとうございました。
- この取扱説明書は火災・ガス警報器(不完全燃焼警報機能付)「ぴこぴこ」の取扱方法を説明します。
- お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解した上で取り扱ってください。
- 本取扱説明書は、末頁に保証書がついています。取扱説明書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。
- 本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスにお問い合わせください。
- 本警報器は炎等の熱を感知して警報を発するものです。火災の発生を未然に防止する装置ではなく、また、火災による損害を防止することを保障するものではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本警報器は、都市ガスや一酸化炭素（CO）を感知して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼の発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれや不完全燃焼による損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれや不完全燃焼などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本警報器は炎等の熱を感知して、火災を検知するものです。換気扇等により熱気が吸引され、熱感知センサー部の温度が上昇しない場合は、火災警報機能が働きません。
- 本警報器は、都市ガスや一酸化炭素(CO)を感知して、ガスもれや不完全燃焼を検知するものです。ガス検知部に都市ガスや一酸化炭素が到達しない場合は、ガスもれ警報機能や不完全燃焼警報機能が働きません。

警報器の機能について

■ガスもれ警報機能・不完全燃焼警報機能

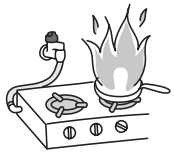


警報器周囲の都市ガスや一酸化炭素（CO）が規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。

《お断わり》

- ガス検知部に都市ガスや一酸化炭素が到達しないときは、警報機能が働きません。
- ガスもれや不完全燃焼の発生を未然に防止する装置ではありません。
  ガスもれや不完全燃焼などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取付場所近くでのガスもれや不完全燃焼には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスもれや不完全燃焼には警報を発しないことがあります。

■火災警報機能



火災などにより、警報器周囲の温度が規定温度（約65℃）以上になると、それを感知して警報を発します。

《お断わり》

- 換気扇などにより熱気が吸引され、熱感知部の温度が上昇しないときは、警報機能が働きません。
- 火災の発生を未然に防止する装置ではありません。
  火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。

もくじ

はじめに

安全上のご注意 …… 3
対象ガス …… 6
各部のなまえとはたらき …… 7
警報器のお知らせ機能について …… 8
使用方法 …… 11

警報器が作動したら

1 『ウーウーピーピー　火災警報器が作動しました 確認してください』と鳴ったときの処置のしかた …… 12
2 メロディー音が鳴っているときの処置のしかた …… 13
3 『ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置のしかた …… 14
4 黄ランプが点滅しているときの処置のしかた …… 16
5 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた …… 17
6 『ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか』と『ウーウーピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置のしかた …… 19
7 異常がないのにメロディー音や警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた …… 22
ランプ表示・音声出力の表現している事象一覧表 …… 24

取り扱いかた

お手入れのしかた …… 25
警報器の取り外し・取り付けかた …… 27
噴霧式殺虫剤を使用するときは …… 28
定期点検 …… 32

その他

故障かな？と思ったら …… 34
アフターサービスについて …… 35
登録 …… 35
仕様 …… 36

取付位置の確認 …… 37

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
⚠警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

- 「一般的な禁止」事項を示しています。
- 「火気厳禁」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「接触禁止」事項を示しています。
- 「ぬれ手禁止」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「必ず行う」事項を示しています。

⚠危険

ガスもれの警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。

爆発の恐れがあります。

火気厳禁

マッチやライターなど、火気を使わないでください。

禁止

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。

禁止

電源プラグを抜かないでください。

禁止

部屋の外から、すぐに入室しないでください。

不完全燃焼の警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

一酸化炭素濃度が上昇し、短時間で生命に危険な状態になる恐れがあります。

必ず行う

警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

禁止

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

必ず行う

火災の警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。

⚠警告

分解禁止

分解や改造はしないでください。

故障の原因となります。

禁止

衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。

必ず行う

常に通電されていること（緑ランプ点灯）を確認してください。

火災、ガスもれ、不完全燃焼が発生しても、警報を発しません。

禁止

警報器をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

火災、ガスもれ、不完全燃焼が発生しても、警報を発しません。
警報器以外の電気製品を同時に使用するときは、警報器の電源プラグに付属の予備コンセントを使用してください。

必ず行う

噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。
(P.28参照)

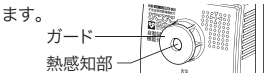
- **警報器をポリ袋などで覆う。**
- **噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。**

誤作動の原因となります。

接触禁止

ガードの中にある熱感知部には触らないでください。

火災を感知しなくなる恐れがあります。



禁止

電源コードにステップルや釘などを打たないでください。

火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠警告

電源プラグや予備コンセントを使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。

火災・感電・電源プラグ破損の恐れがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、予備コンセントを触ったりしないでください。

感電する恐れがあります。

必ず行う

電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。

火災の原因となります。

必ず行う

警報器の電源プラグ・予備コンセントに接続する他の電気製品の電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損の恐れがあります。

必ず行う

予備コンセントには、消費電力が990W以下の機器を接続してください。

990Wを超えると火災の恐れがあります。

必ず行う

予備コンセントに接続する他の電気製品は、必ず電源スイッチを切ってから電源プラグの抜き差しを行ってください。

感電の恐れがあります。

禁止

警報器の電源プラグに大きな力をかけないでください。

(例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しすることはおやめください。)

⚠注意

禁止

取付位置を移動させないでください。

警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じたときは、販売店にご相談ください。

禁止

警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。

警報の遅れの原因となります。

必ず行う

設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。

正常に作動しない恐れがあります。
有効期限は、貼ってある有効期限ラベルに示しています。

禁止

警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。

ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがあります。警報器から距離を離してお使いください。

必ず行う

警報器をお手入れするときは、必ず警報器の電源プラグを抜いてください。

感電やけがの原因となります。

必ず行う

警報器の取り外し・取り付けを行うときや、警報器をポリ袋で覆うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。

転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。

水ぬれ禁止

警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショートや感電の恐れがあります。

禁止

この商品は日本消防検定協会の鑑定品ですが、消防法で定められた自動火災警報設備には該当いたしませんので、それらの用途には使用できません。

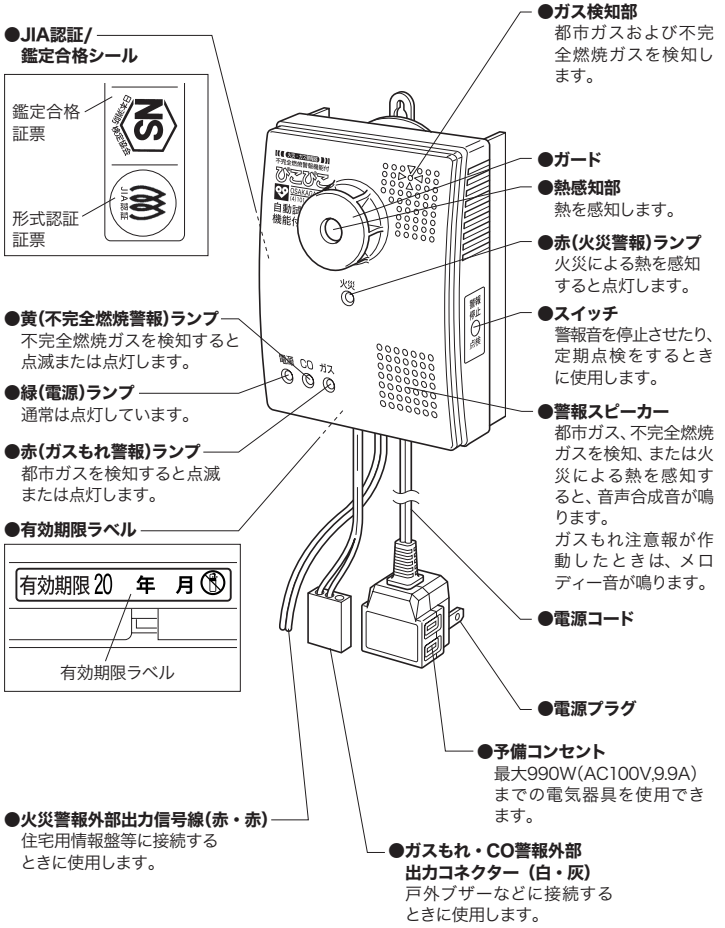
対象ガス

⚠注意

- この警報器は火災（火災等による熱）、都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）および一酸化炭素（燃焼排気ガス中のCO）を検知します。
- 都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）供給区域外ではお使いにならないでください。

はじめに

各部のなまえとはたらき

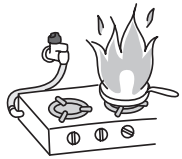


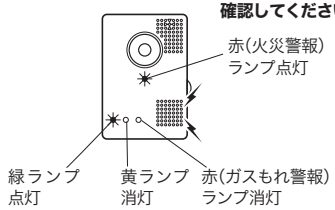
警報器のお知らせ機能について

火災による熱が発生したときは

P.12参照

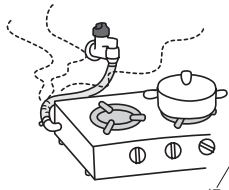
警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)以上になると作動します。





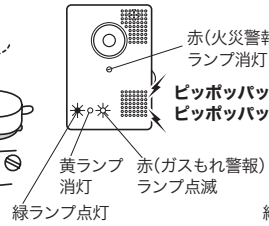
都市ガスがもれたときは

警報器周囲の都市ガスが規定濃度以上になると作動します。低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



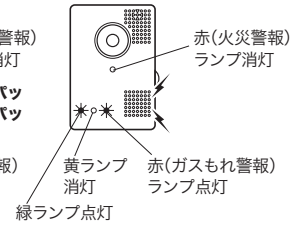
注意報

P.13参照



警報

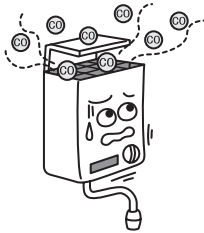
P.14～P.16参照



警報器のお知らせ機能について

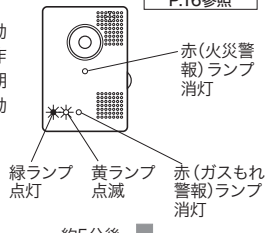
ガス機器の不完全燃焼が発生したときは

警報器周囲の一酸化炭素(CO)が規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。(低濃度が一定期間継続した場合も警報が作動します。)



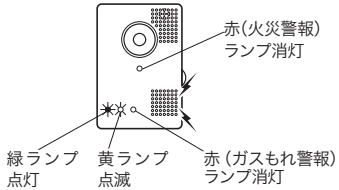
注意報

P.16参照



約5分後

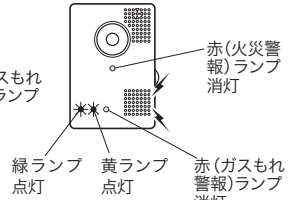
ウーウーピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください



警報

P.17～P.18参照

ウーウーピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください



都市ガスのもれとガス機器の不完全燃焼が同時に発生したときは

P.19～P.21参照

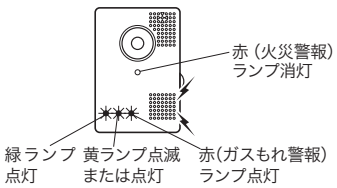
警報器周囲の都市ガスと一酸化炭素(CO)が規定濃度以上になると作動します。

ウーウーピッピッピッピッ
ガスがもれていませんか

↔

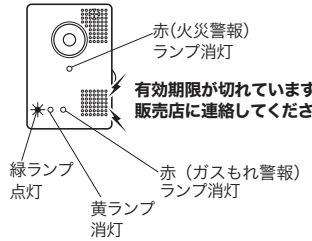
ウーウーピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

交互に鳴る



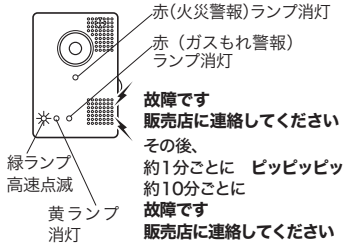
有効期限が過ぎたときは

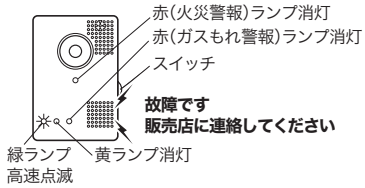
有効期限を半年以上過ぎスイッチを押すと、「有効期限が切れています　販売店に連絡してください」が鳴ります。
また、有効期限を半年以上過ぎて電源を再投入すると、60秒後に「正常です」が鳴らずに「有効期限が切れています　販売店に連絡してください」が鳴ります。
販売店までご連絡ください。



故障しているときは

故障が発生すると、
「故障です　販売店に連絡してください」が1回鳴り、緑ランプが高速点滅します。
その後に「ピッピッピッ」と約1分ごとに繰り返し鳴り、約10分ごとに
「故障です　販売店に連絡してください」が鳴ります。
それ以降も同じ警報を繰り返します。
ただし、スイッチを押すと、
「故障です　販売店に連絡してください」が1回鳴り、警報音は約36時間停止します。
緑ランプの高速点滅は止まりません。
※販売店までご連絡ください。
※外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。

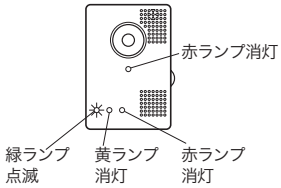




使用方法

1 電源プラグをコンセントに差し込む。

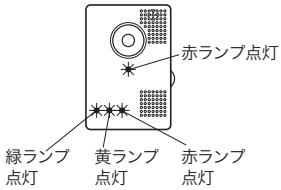
緑ランプが点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。



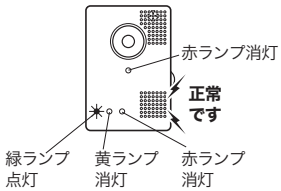
2 電源に接続してから約1分後、ランプが全点灯した後、消灯します。

〈過去約10日以内に警報が作動した場合〉

最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。（鳴動原因表示機能によるものです。）



3 「正常です」と鳴って緑ランプが点灯し、監視状態に入ります。



1『ウーウーピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください』と鳴ったときの処置のしかた

【赤（火災警報）ランプが点灯】

〈火災警報〉

⚠危険

消火が不可能なときは、避難する。

必ず行う

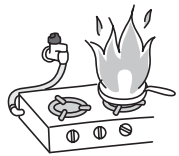
《お断わり》

- 火災以外の熱などで火災警報を発している場合でも、ガスもれ警報ランプ（赤ランプ）および不完全燃焼警報ランプ（黄ランプ）の点灯、点滅の有無を確認してください。
  ※火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるガスもれおよび不完全燃焼警報は発しません。
- ガスもれ警報ランプ（赤ランプ）および不完全燃焼警報ランプ（黄ランプ）が点灯している場合は、P.14・P.17の処置を行ってください。

〈火災以外の熱などで火災警報を発しているとき〉

P.22の処置をしてください。

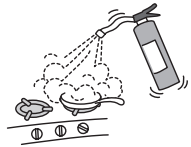
1 火元の確認をする。



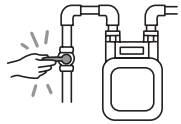
2 必要な手段をとる。

119番への通報

初期消火



天ぷら油から炎が出ているときは、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。



メーターガス栓をあけるときは大阪ガスにご連絡ください。

警報器周囲の温度が規定温度（約65℃）以下になると、警報音が鳴りやみ、赤（火災警報）ランプが消灯します。

2 メロディー音
が鳴っているときの処置のしかた

【赤(ガスもれ警報)ランプが点滅】

〈ガスもれ注意報〉

《お断わり》

外部機器と連動している場合、ガスもれ注意報では外部機器は連動動作しません。

1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気を続けると、ランプは消灯し、メロディー音は鳴りやみます。

2 原因を確認する。

もれた都市ガス濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。
(P.23参照)

3 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』
と鳴ったときの処置のしかた

【赤(ガスもれ警報)ランプが点灯】

〈ガスもれ警報〉

警報音が鳴っている部屋にいるときは

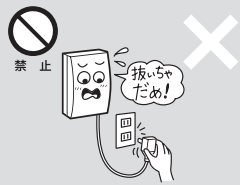
⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わない。

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。

電源プラグを抜かない。

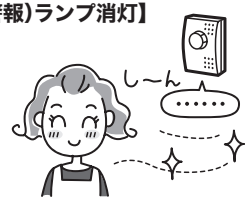


1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。【赤(ガスもれ警報)ランプ消灯】



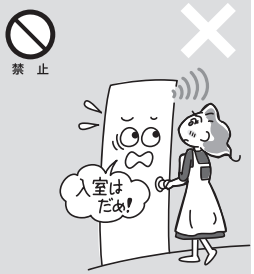
4 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠危険

警報音が鳴っている間は、
部屋の外から、
すぐに入室しない。
爆発の恐れがあります。

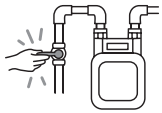


1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

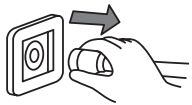
メーターガス栓をあけるときは大阪ガスにご連絡ください。



3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、赤(ガスもれ警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

6 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)

最寄りの大阪ガスへ連絡する。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声が30秒～ 60秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。
※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声が30秒～ 60秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。
ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

4 黄(不完全燃焼警報)ランプが点滅しているときの処置のしかた

〈不完全燃焼注意報〉

《お断わり》

●外部機器と連動している場合、不完全燃焼注意報では外部機器は連動動作しません。

1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気を続けると、ランプは消灯します。

2 原因を確認する。

一酸化炭素(CO)濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。
(P.23参照)

5『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた

【黄(不完全燃焼警報)ランプが点滅または点灯】

〈不完全燃焼警報〉

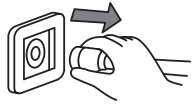
警報音が鳴っている部屋にいるとき

⚠危険

警報音が鳴ったら、
すぐに換気し、使用中のガス機器を止める。
一酸化炭素（CO）濃度が上昇し、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。

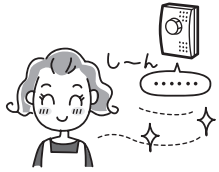
1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

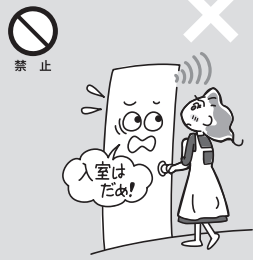
3 一酸化炭素(CO)がなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【黄(不完全燃焼警報)ランプ消灯】



部屋の外から警報音に気づいたとき

⚠危険

警報音が鳴っている間は、
部屋の外から、すぐに入室しない。
一酸化炭素（CO）濃度が濃くなっていることがあり、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。



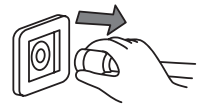
1 部屋に入らない。
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。
メーターガス栓をあけるときは大阪ガスにご連絡ください。

3 一酸化炭素(CO)がなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、黄(不完全燃焼警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

処置をしても、警報音が鳴りやまないとき

おねがい

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

最寄りの大阪ガスへ連絡する。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声が30秒～ 60秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。
※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声が30秒～ 60秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。
ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

6『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれ 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れ が交互に鳴ったときの処置のしかた

【赤(ガスもれ警報)ランプが点灯、
黄(不完全燃焼警報)ランプが点滅または点灯】

〈ガスもれ警報と不完全燃焼警報の同時警報〉

警報音が鳴っている部屋にいるときは

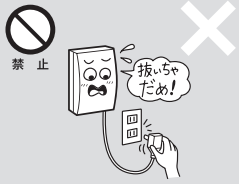
⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発や一酸化炭素中毒の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わない。

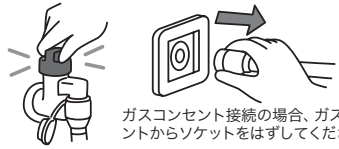
換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。

電源プラグを抜かない。



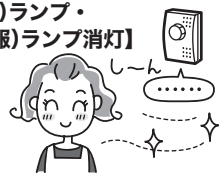
1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 ガスや一酸化炭素(CO)がなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【赤(ガスもれ警報)ランプ・黄(不完全燃焼警報)ランプ消灯】



4 ガスもれや不完全燃焼ガスの原因を点検する。

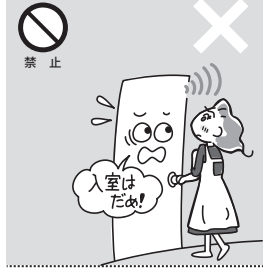
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

ていませんか』と て危険です 窓を開けて換気してください』

部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠危険

警報音が鳴っている間は、
部屋の外から、
すぐに入室しない。
爆発や一酸化炭素中毒の恐れがあります。



1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

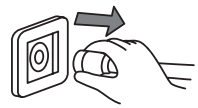
2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

メーターガス栓をあけるときは大阪ガスにご連絡ください。

3 ガスや一酸化炭素(CO)がなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、赤(ガスもれ警報)ランプ・黄(不完全燃焼警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

6 ガスもれや不完全燃焼ガスの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。（有償）
- ガス機器以外の燃焼機器（石油ファンヒーター、石油ストーブなど）が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声が30秒～ 60秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。
※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声が30秒～ 60秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。
ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

最寄りの大阪ガスへ連絡する。

7 異常がないのにメロディー音や警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスもれや不完全燃焼ガス以外の空気の汚れで、赤（ガスもれ警報）ランプや黄（不完全燃焼警報）ランプが点滅したり、メロディー音や警報音が鳴ったときは

〈メロディー音や警報音を止めたいとき〉

スイッチを押すと、

- ガスもれのメロディー音は36時間止めることができ、ガスもれの警報音は1回だけ5分間止めることができます。
- CO警報は注意報の警報音のみ1回だけ5分間止めることができます。

※ 警報元の警報器周囲の都市ガスと一酸化炭素（CO）が一定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び警報を発します。
※ 外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。

2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が止まる。

火災以外の熱で火災警報音が鳴ったときは

〈火災警報音を止めたいとき〉

スイッチを押してください。警報音が止まります。

※ 警報元の警報器周囲の熱が規定温度（約65℃）以下になっていない場合は、5分後に再び火災警報を発します。
※ 外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。

2 警報器周囲の温度が規定温度（約65℃）以下になると、警報音が鳴りやむ。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 長い間閉め切られたお部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサーの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分（シリコーンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス[エアコンの冷媒ガスなど]）の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- 建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。

〈ガスもれ・不完全燃焼警報〉

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 芳香剤・香油(アロマオイル)などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 長時間、部屋を閉め切っていませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋（業務用）で湯を沸かしていませんか。点火初期時に一酸化炭素が発生し、不完全燃焼警報を発することがあります。

〈火災警報〉

- 調理中の熱がこもっていませんか。
- エアコンなどの空調機器の熱が直接警報器に当たっていませんか。
- 熱感知部が故障している可能性があります。

おねがい

ガスもれや不完全燃焼（CO）以外でも空気がよごれた場合などにも、赤・黄ランプが点滅・点灯したり、メロディー音が流れる場合または、警報音声が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

ランプ表示・音声出力の表現している事象一覧表

ランプ 緑	ランプ 黄	ランプ 赤（ガスもれ警報）	ランプ 赤（火災警報）	音声内容	表現している事象	対応方法
●	○	○	○	なし	通常動作(監視中)	−
●	○	◎	○	メロディー（10分ごとに2回）	ガスもれ注意報	13ページ参照
●	○	●	○	ガスもれ警報音声「ウーウー　ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」	ガスもれ警報	14～16ページ参照
●	◎	○	○	なし	不完全燃焼注意報	16ページ参照
●	◎ または ●	○	○	不完全燃焼警報音声「ウーウー　ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」	不完全燃焼警報	17・18ページ参照
●	◎	◎	○	メロディー（10分ごとに2回）	ガスもれ注意報と不完全燃焼注意報	13・16ページ参照
●	◎	●	○	ガスもれ警報音声「ウーウー　ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」	ガスもれ警報と不完全燃焼注意報	14～16ページ参照
●	◎ または ●	◎	○	不完全燃焼警報音声「ウーウー　ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」	不完全燃焼警報とガスもれ注意報	17・18ページ参照
●	◎ または ●	●	○	ガスもれ警報音声「ウーウー　ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」と、不完全燃焼警報音声「ウーウー　ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」の交互音声	ガスもれ警報と不完全燃焼警報	19～21ページ参照
◎	○	○	○	故障警報音声 「故障です　販売店に連絡してください」（10分ごと） 「ピッピッピッ」（1分ごと）	故障警報（警報器が故障診断機能により故障と判断した状態）	販売店に連絡してください。
●	○	○	○	有効期限切れ音声 「有効期限が切れています　販売店に連絡してください」	有効期限切れ（警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態）	販売店に連絡してください。
●	○	○	●	火災警報音声 「ウーウー　ピーピー　火災警報器が作動しました　確認してください」	火災警報	12ページ参照
●	○	◎	●		火災警報とガスもれ注意報	
●	○	●	●		火災警報とガスもれ警報	
●	◎ または ●	○	●		火災警報と不完全燃焼注意報または警報	
●	◎ または ●	◎	●		火災警報・ガスもれ注意報・不完全燃焼注意報または警報	
●	◎ または ●	●	●		火災警報・ガスもれ警報・不完全燃焼注意報または警報	

●：点灯、◎：点滅、○：消灯

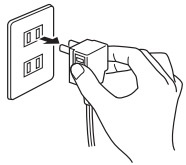
※故障したときは、上記以外の表示音声を発する場合があります。この場合、販売店にご連絡ください。

お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く。

《お断わり》

外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

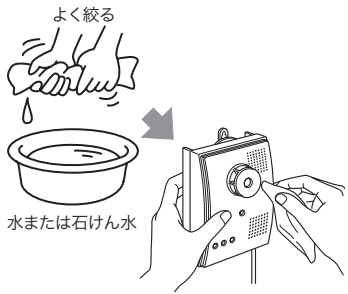


2 警報器を取り外す。
(P.27参照)

3 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取る。

●警報器表面・壁面
布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからふき取ってください。

●電源プラグ
乾いた布でふき取ってください。



おねがい

●お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。

●お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。

アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤（ガスもれ警報）ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

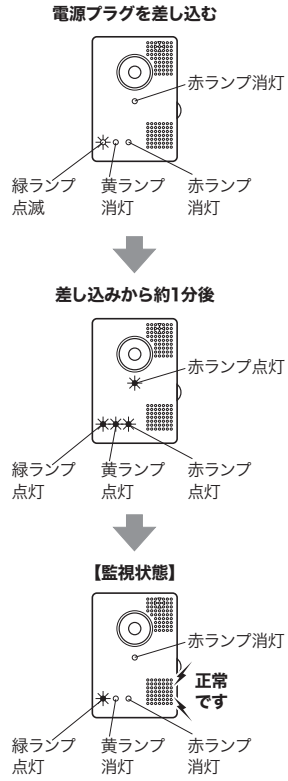
4 警報器を取り付ける。
(P.27参照)

5 電源プラグをコンセントに差し込む。

●警報器の電源が入ります。
緑（電源）ランプが点滅し、約1分後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って緑ランプが点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。
異常があれば「故障です　販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。

〈過去約10日以内に警報が作動した場合〉

最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。（鳴動原因表示機能によるものです。）



取り扱いかた

警報器の取り外し・取り付けかた

〈取り外しかた〉

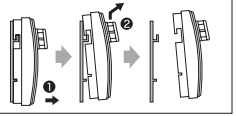
1 電源コードをコード振れ止めから取り外す。

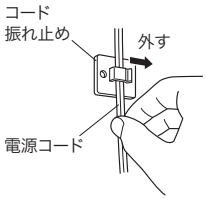
2 木ネジをゆるめて警報器を取り外す。

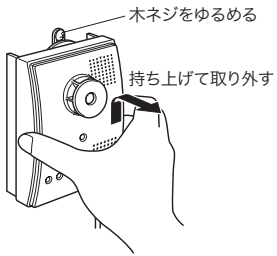
〈注意〉

壁掛型警報器は、強く引っ張ると取り付けている木ねじが抜けたり、木ねじから警報器が外れたりして、落下する恐れがあります。

既存の取付板からの取り外しかた







〈取り付けかた〉

1 警報器を木ネジに引っ掛ける。

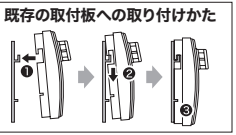
2 木ネジを締め付けて固定する。

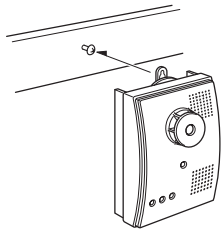
3 電源コードをコード振れ止めに取り付ける。

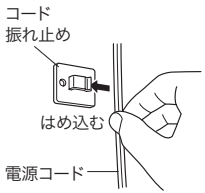
〈確認〉

警報器が確実に固定されていることを確認してください。

既存の取付板への取り付けかた







噴霧式殺虫剤を使用するときは

⚠警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。

警報器が作動しません。

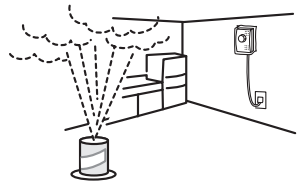
電源プラグを抜かないでください。

電源プラグを抜き、警報器をポリ袋で覆わずに噴霧式殺虫剤を使用すると、噴霧後に再び電源プラグを差し込んだときに警報音が鳴ることがあります。また、外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報音(故障表示)が鳴ることがあります。

⚠注意

ポリ袋の取り付け・取り外しや警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って、十分に注意して行ってください。

転落、転倒、落下の原因になります。



噴霧式殺虫剤を使用するときは

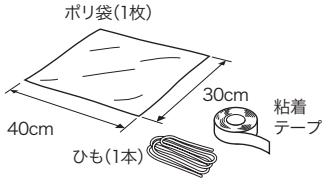
1.警報器をポリ袋で覆う

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に以下の処置をしてください。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるとき

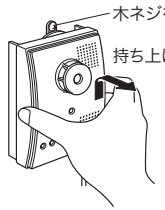
〈準備するもの〉

- ●ポリ袋(30㎝×40㎝・1枚)
  ポリプロピレン製(PPまたは>PP<表示)
  ※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- ●ひも(1本)
- ●粘着テープ

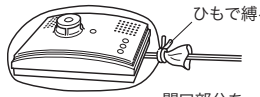


〈処置のしかた〉

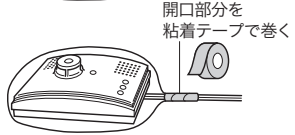
①警報器を取り外してください。(P.27参照)



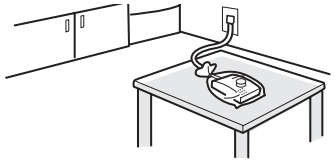
②警報器にポリ袋を被せ、袋の口を電源コードの上からひもで縛ってください。



③ポリ袋と電源コードの間に隙間ができないように、ポリ袋の開口部分に粘着テープを巻き付けてください。



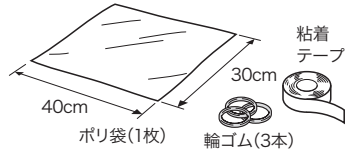
④ポリ袋を傷めないように、警報器を安定するところに置いてください。



警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき

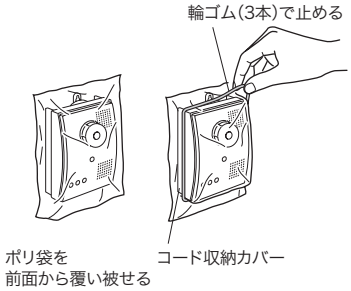
〈準備するもの〉

- ●ポリ袋(30㎝×40㎝・1枚)
  ポリプロピレン製(PPまたは>PP<表示)
  ※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- ●輪ゴム(3本)
- ●粘着テープ
  養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、またはがすときに壁面を傷めないテープを選んでください。

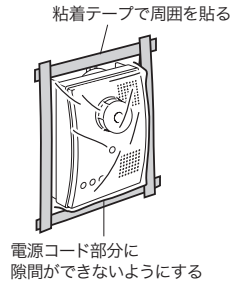


〈処置のしかた〉

①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、コード収納カバー部分を輪ゴム(3本)でしっかり止めてください。



②ポリ袋の端を粘着テープで壁面に貼り付けてください。
ポリ袋と壁面の間に隙間ができないように、粘着テープを貼ってください。
特に、ポリ袋がしわになっている部分や電源コードが通っている部分に注意してください。
※壁面などの状況により、粘着テープでの貼り付けができない場合、①のみの処置でも一定の効果はあります。

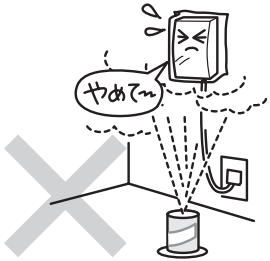


噴霧式殺虫剤を使用するときは

2.噴霧式殺虫剤を噴霧する

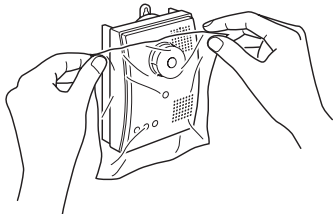
以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。
噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

●部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。
必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
●噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。
警報器の真下は避けてください。
●ポリ袋と壁面の間に隙間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。
●警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。
ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
●経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。



3.ポリ袋を取り外す

噴霧が終わったら、ポリ袋を外してください。
警報器を取り外した場合は、元の位置に取り付けてください。



おねがい

粘着テープを外すときは、壁面などを傷めないように慎重に行ってください。

定期点検

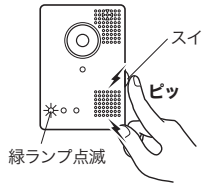
〈警報機能の点検〉

⚠警告

●点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。
警報器の破損や火災の原因になります。
●点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。
転倒してけがをする恐れがあります。

警報器は定期的に（1ヶ月に1度）以下の手順でスイッチを押して、正常に動作するか点検してください。

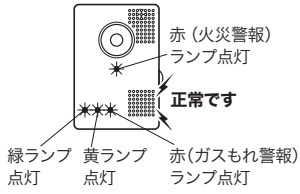
〈点検のしかた〉
①スイッチを約1秒間押すと「ピッ」と開始音が鳴り、緑ランプが点滅します。



②スイッチから手を離すと以下のように動作することを確認してください。

音声内容	ランプ			
	緑	黄	赤（ガスもれ警報）	赤（火災警報）
正常です	点灯	点灯	点灯	点灯

●過去約10日以内に警報が作動した場合のみ
最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。（鳴動原因表示機能によるものです。）



③監視状態（緑ランプ点灯）に戻ります。

定期点検

音声で確認する場合

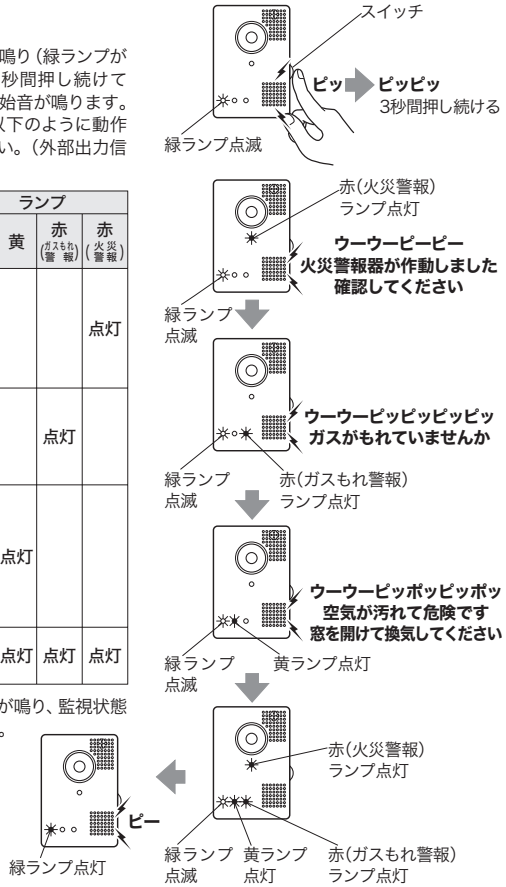
以下の点検は電源投入後25分経過後の場合です。
25分以内の場合は以下の動作と併せて外部出力信号を出力しますので、外部機器と連動している場合はご注意ください。

〈点検のしかた〉
①スイッチを押すと「ピッ」と鳴り（緑ランプが点滅を開始）、そのまま３秒間押し続けてください。「ピッピッ」と開始音が鳴ります。
②スイッチから手を離すと以下のように動作することを確認してください。（外部出力信号は出力されません。）

動作順	音声内容	ランプ			
		緑	黄	赤（ガスもれ警報）	赤（火災警報）
1	「ウーウー ピーピー 火災警報器が 作動しました 確認してください」	点滅			点灯
2	「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれて いませんか」	点滅		点灯	
3	「ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて 危険です 窓を開けて 換気してください」	点滅	点灯		
4	無音	点滅	点灯	点灯	点灯

③約1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態（緑ランプ点灯）に戻ります。

※1分以内に点検を終了したい場合は、スイッチを押すと、「ピー」と鳴り、終了します。



故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
緑（電源）ランプが消灯している。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源ブレーカーが切れていませんか。	ブレーカーを入れてください。
	停電していませんか。	停電でなければ、警報器の故障が考えられますので、販売店に連絡してください。
警報器が温かくなっている。	–	通電により、センサ部を加熱しています。異常ではありません。
緑（電源）ランプが高速点滅している。	警報器の故障を知らせています。スイッチを押してください。	「故障です　販売店に連絡してください」と鳴りますので、販売店に連絡してください。（機器故障音声機能）
火災、ガスもれ、不完全燃焼ではないのに、赤ランプや黄ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。（P.23 参照）	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。鳴りやまない場合は最寄りの大阪ガスへ連絡してください。
	ガス機器の異常が考えられます。	ガス機器の点検を受けてください。（有償）
	ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	それらの機器も点検を受けてください。
電源を入れたときに、赤ランプや黄ランプが長く点灯する。	10日以内に警報を発していませんか。	鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。（P.11 参照）
電源を入れたときや、スイッチを押したときに「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」と鳴る。	警報器の有効期限ラベルに記載の有効期限が切れていませんか。	有効期限が切れていれば、販売店に連絡してください。（P.10 参照）

アフターサービスについて

■この警報器は、5年間の無償保証付です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取り替えいたします。ただし、保証書裏面「5」の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。

■この警報器の有効期限は、ご使用開始後5年間です。
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定のガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。

■「リース契約書」もしくは「警報器登録票」に販売店（リース取扱店）名の記入のないものは保証内容が無効となることがありますので、お取り付け時にご確認ください。

■アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店（リース取扱店）　または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。

■警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。

■作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。

■引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。

登録

この警報器は、コンピューターに登録して管理させていただきます。登録は、取り付け時もしくは開栓時に行い、登録済みの警報器の有効期限ラベルには有効期限が記入されていますので、ご確認ください。

また、有効期限の記入のないラベルは未登録の場合がありますので、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご確認ください。
（保証書と有効期限ラベルの期日が異なる場合は、有効期限ラベルの期日が、この警報器の有効期限です。）

有効期限の約1ヵ月前に、登録されているものについては、当社よりお知らせします。有効期限を過ぎた場合は、新しいものとお取り替えください。

仕様

項目				仕様
火災警報機能	種別			定温式住宅用火災警報器・ガス漏れ警報器
	鑑定型式番号			鑑住第21～4号
	検知原理			半導体（サーミスタ使用）
	公称作動温度			65℃
	外部出力信号			警報時　a接点　ON　無電圧　接点容量（DC24V、0.1A）無極性
	日本消防検定協会　住宅用火災警報器　鑑定合格品			
ガスもれ・不完全燃焼警報機能	対象ガス			都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス用） 不完全燃焼排気ガス中の一酸化炭素（CO）
	検知方式			半導体式
	都市ガス	ガスもれ警報	作動条件	•爆発下限界濃度の1/4の都市ガスに対し60秒以内に警報
			表示・発報方式	赤ランプ点灯
				音声合成警報音
		ガスもれ注意報	作動条件	ガスもれ警報濃度以下の都市ガスに対し注意報
			表示・発報方式	赤ランプ点滅
				メロディー音
	ガス中の一酸化炭素	不完全燃焼警報	作動条件	550ppmの一酸化炭素に対し　5分以内に警報
				300ppmの一酸化炭素に対し　10分以内に警報
			表示・発報方式	黄ランプ点灯または点滅
				音声合成警報音
		不完全燃焼排気注意報	作動条件	300ppmの一酸化炭素に対し　5分以内に注意報
			表示・発報方式	黄ランプ点滅
				発報音無し
	外部出力信号			有電圧出力　3段階有電圧2線式
				（監視時 DC6V、電源OFF時・故障診断時 0V、ガスもれ警報時 DC12V、不完全燃焼警報時 DC18V）
	（財）日本ガス機器検査協会（ＪＩＡ）都市ガス用ガス警報器検査規程　認証合格品			
共通仕様	警報音量			70dB(A)/m以上
	電源			AC100V±10V　50/60Hz
	消費電力			監視時　約1.2W、警報時　約1.5W
	付属機能			通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能
	使用温度範囲			0℃～+40℃（結露しないこと）
	寸法・質量			幅85×高さ125×奥行き51mm（突起部を除く）、約330g
	電源コード			長さ　2.5m（約2.2mは警報器背面に巻取可能） 予備コンセント付プラグ （予備コンセントに接続できる電気製品は、990W[AC100V, 9.9A]以下）
	付属品			コード振れ止め×3、木ネジ（φ3.1×10mm）×3、木ネジ（φ3.1×16mm）×2、取扱説明書（保証書付）（本書）×1、取付説明書×1

＊ 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

※ マイコンメーターと接続する場合は、警報器アダプターが必要になります。

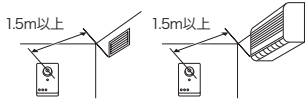
取付位置の確認

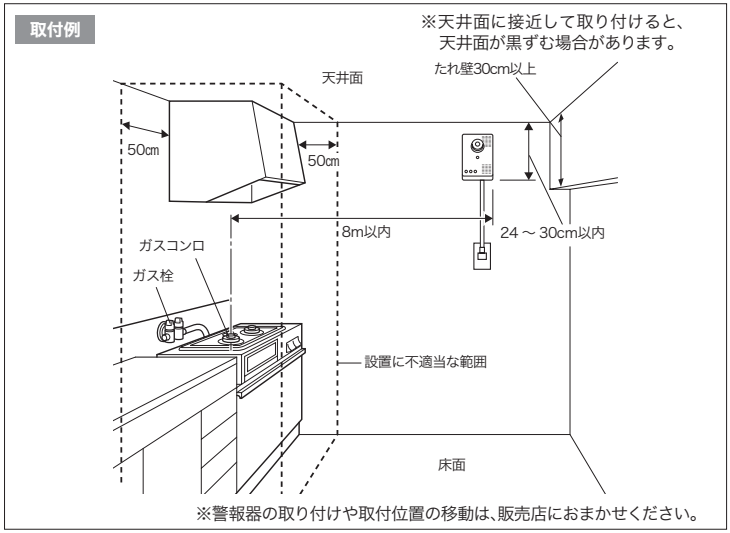
⚠注意

正しい取付位置に取り付けられていることを確認してください。
取り付けてはいけない場所に取り付けられていると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

〈正しい取付場所について〉

- ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- もれたガスや不完全燃焼ガスが滞留しやすい位置で、緑(電源)ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓）から、水平距離で8m以内、警報器の底面から天井面までの距離が24cm以上～ 30cm以内の位置に取り付けてください。
- 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。



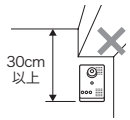


※警報器の取り付けや取付位置の移動は、販売店におまかせください。

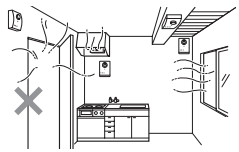
〈取り付けてはいけない場所について〉

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。

- **レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。**
  アルコール等で警報することがあります。
- **換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。**
- **すき間風の入る場所。**
- **30cm以上(警報器含)のたれ壁などの下。**

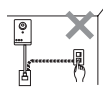


- **たれ壁30cm以上で区切られている場所。**
- **エアコンなどの吹出口に近い場所。**
  警報が遅れたり、検知できないことがあります。

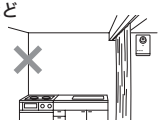


- **燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。**
  センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。

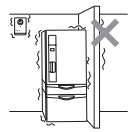
- **ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。**
- **使用時でないと電源を入れない場所。**
  警報器としての機能を果たしません。



- **カーテンウォールなどで仕切られた場所。**
  警報が遅れます。

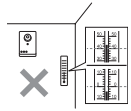


- **振動、衝撃の激しい場所。**
  センサの故障の原因になります。

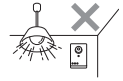
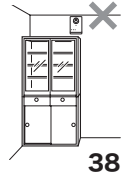


- **浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。**
  感電や電気的故障の原因になります。

- **温度が0 ～ +40℃の範囲をこえる場所。**
  警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。



- **屋外。**
  屋外用ではありません。
- **業務用・工業用。**
  家庭用です。業務用・工業用ではありません。
- **照明器具などから発生する熱の影響を受ける場所。**
  センサの故障の原因になります。



- **食器棚などの上部。**
  警報器が遅れます。